

佃中学校区学校適正配置に係るアンケート結果

アンケート実施期間：令和8年6月22日（月）～7月8日（水）

アンケート対象：佃小学校、佃西小学校、佃中学校の児童・生徒（約1,080名）の保護者
佃中学校区にお住まいの未就学児（約580名）の保護者

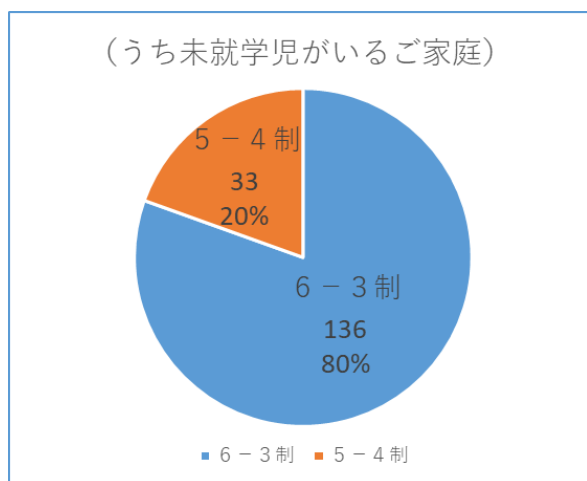
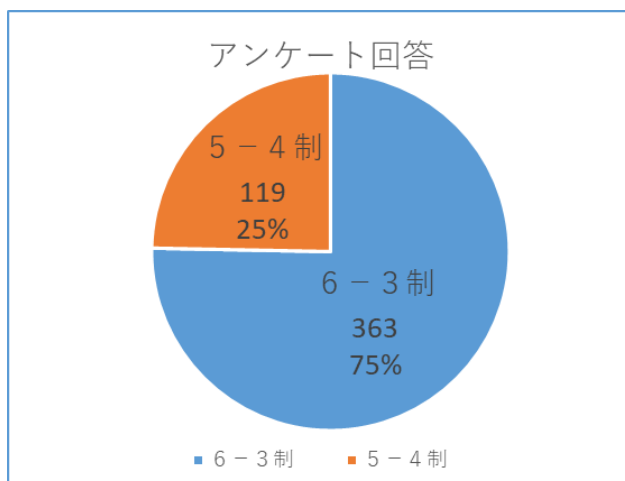
アンケート実施手法：アンケート用紙配付

（児童生徒に対しては学校から配付、未就学児には郵送）

⇒ 各家庭につき1回の回答としてオンライン回答、紙回答

アンケートの回答結果

	6－3制	5－4制	合計
アンケート回答	363	119	482
（うち未就学児がいるご家庭）	136	33	169



● 6－3制を選択された方の主なご意見要旨

- ・縦割り班活動など良い活動であり、校舎が分かれると交流の機会が減るので、6年生まで同じ校舎でいてほしい。
- ・5－4制の場合、6年生が校舎間の移動を伴うこととなるので、このままの6－3制がよい。
- ・授業時間やテスト、校舎間の移動など、6年生への負担が大きいと感じる。
- ・6－3制から変更する必要性を感じない
- ・小学生の頃から中学校教員との交流があるのはよいが、小学生はやはり小学校校舎で卒業し、中学校進学時には気持ちを新たに進学してほしい。
- ・小学生が中学校校舎にすることで、中学生の部活動や学習に少なからず影響が出る。

● 5－4 制を選択された方の主なご意見要旨

- ・ 6 年生の校舎間移動は大変だが、中学校の雰囲気や専科指導を早くから受けれるのは子どもにとって多くを学べる良い経験だと思う。
- ・ 最近の子ども達の成長はとても早い。中学校生活に早く慣れ、有意義に中学校生活を送り、受験に備えてほしい。
- ・ 早い段階から中学校のリズムに慣れた方が学力もつくと思う。
- ・ 小学校から中学校に進級すると雰囲気がガラリと変わり、子どもも戸惑っていた。不登校になる生徒も増えたと聞くので、6 年生から徐々に慣らした方が環境になじみやすいと思う。

★アンケート結果を受けた最終的な適正配置の方向性について

回答の 75 %の方が 6－3 制を希望されており、また、適正配置後の影響を直接的に受けることとなる未就学児の保護者からの回答では 80 %の方が 6－3 制を希望されているといった結果となりました。

この結果を受け、保護者の皆様のご意向を最大限尊重することとし、佃中学校区における学校配置の適正化としては

6－3 制の小中一貫校として進めたいと考えています。